



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年6月12日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	伝統文化係	新井	内線 3147 直通 058-272-8759 FAX 058-278-2824
土岐市産業文化部 文化振興課	文化振興係	和田	直通 0572-54-1238 FAX 0572-55-7763

岐阜県重要無形文化財の保持者認定について

岐阜県文化財保護審議会の答申に基づき、下記のとおり岐阜県重要無形文化財の保持者認定1件を決定します。

記

<岐阜県重要無形文化財の保持者認定>

名称	保持者	住所
きぜと 黄瀬戸	はやしきょうすけ 林 恭 介 (雅号：林 恭 助)	土岐市

※詳細は別紙のとおり

※「黄瀬戸」については、平成15年2月28日に県重要無形文化財に指定されており、その保持者として、多治見市の安藤日出武氏あんどうひでたけが認定されています。今回、「黄瀬戸」の保持者として林恭介氏を新たに認定します。

別紙 <認定する保持者の概要>

名 称	黄瀬戸 <small>きぜと</small>	保 持 者	林 恭 介 (雅号：林 恭 助) <small>はやしきょうすけ</small> <small>はやしきょうすけ</small>
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 黄瀬戸は、瀬戸黒<small>せとぐろ</small>、志野<small>しの</small>、織部<small>おりべ</small>とともに桃山時代に花開いた、美濃を代表するやきものである。現在は、桃山時代の技法を継承しつつ、より芸術性が高く、現代感覚にあふれる作品の制作がなされている。 林恭介（恭助）氏は長きにわたり黄瀬戸の伝統的な技法を極めるだけでなく、現代の黄瀬戸をどう作り上げるかという研究を重ねてきた。そして、黄瀬戸の伝統的な特徴を大切にしながらも桃山陶には見られなかった大壺や大鉢の大作や、飲みやすさを重視しあえて「ひずみ」を取り入れたアンシンメトリー（左右非対称）に成形された作品など斬新な技術を取り入れ、時代に沿った新たな黄瀬戸の世界を創出している。 		



黄瀬戸壺（林恭介作）



林 恭 介 氏

写真提供：林恭介氏